

平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年1月7日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ゴトー
 コード番号 9817 URL <http://www.gms.co.jp/goto>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 行宏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 土橋 文彦

TEL 055-923-5100

四半期報告書提出予定日 平成23年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	7,796	△14.8	△99	—	98	△44.9	38	—
22年2月期第3四半期	9,152	—	10	—	178	—	△123	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	4.20	—
22年2月期第3四半期	△13.40	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	12,263	9,939	81.0	1,079.47
22年2月期	12,229	9,970	81.5	1,082.88

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 9,939百万円 22年2月期 9,970百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
23年2月期	—	0.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,669	△14.0	△14	—	198	△13.7	15	—	1.63

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

（注）「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 9,207,753株 22年2月期 9,207,753株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 398株 22年2月期 361株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 9,207,381株 22年2月期3Q 9,207,413株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1.	当四半期の業績等に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する定性的情報	2
	(2) 財政状態に関する定性的情報	2
	(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	4
	(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
	(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
	(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	4
3.	四半期財務諸表	5
	(1) 四半期貸借対照表	5
	(2) 四半期損益計算書	7
	【第3四半期累計期間】	7
	【第3四半期会計期間】	8
	(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
	(4) 継続企業の前提に関する注記	11
	(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4.	補足情報	11
	事業別売上高の状況	11

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間における我が国経済は、新興国を中心とする海外需要の増加や企業収益の改善に加え、個人消費も政府の景気対策等により回復の兆しが見られたものの、全体的にはデフレの影響や雇用情勢の厳しさによる先行き不透明感から、本格的な回復には至っておりません。

このような中、当社は『心豊かになる生活提案を続け、お客様の感動と従業員の成長と幸福を追求します』という経営理念の下、取扱商品と価格の見直し、選びやすく提案力ある商品陳列法への改善、店舗の快適性の向上に注力してまいりました。

出退店につきましては、不採算店舗を2店舗閉店、運営エリア見直しにより2店舗を譲渡し、1店舗を譲受したことにより、51店舗（前事業年度末54店舗）となりました。

(TSUTAYA事業)

レンタルは、映像レンタル価格引下げの影響が続き、運営効率の見直しによるCD・DVD販売及びゲーム販売の取扱い店舗の縮小とコミックレンタル取扱店舗を増加させましたが、TSUTAYA店舗が減少したことで、売上高は3,744百万円（前年同四半期比18.8%減）となりました。

(BOOK OFF事業)

CD・DVDのソフトは、販売価格を見直したことで順調に推移しました。また、店舗改装を2店舗実施いたしましたが、BOOK OFF店舗数が減少したことで、売上高は2,333百万円（前年同四半期比8.9%減）となりました。

(ゲーム事業)

中古ゲームは改善の傾向にありますが、新品はソフト・ハードともに低調に推移し、売上高は1,316百万円（前年同四半期比14.4%減）となりました。

(ファッションその他事業)

猛暑が続いたことで夏物衣料が好調で、秋以降は商品提案方法の見直しにより、やや回復傾向にありますが、売上高は402百万円（前年同四半期比9.2%減）となりました。

これらの結果、当第3四半期累計期間におきましては、売上高は7,796百万円（前年同四半期比14.8%減）、営業損失99百万円（前年同四半期は営業利益10百万円）、経常利益98百万円（前年同四半期比44.9%減）、四半期純利益38百万円（前年同四半期は四半期純損失123百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ33百万円増加し、12,263百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,041百万円増加し、投資有価証券の売却及び評価替により250百万円、賃借店舗の解約等により敷金及び保証金220百万円、建設協力金206百万円、有価証券の償還により100百万円、有形固定資産の売却及び除却により110百万円、商品45百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前事業年度末に比べ64百万円増加し2,324百万円となりました。これは主に短期借入金214百万円、長期借入金60百万円、買掛金108百万円増加し、店舗の閉鎖により未払金49百万円、長期未払金112百万円、賃貸店舗の解約等により預り敷金107百万円、社債40百万円、未払法人税等25百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前事業年度末に比べ31百万円減少し、9,939百万円となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が70百万円減少し、利益剰余金が38百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ991百万円増加し2,873百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間における営業活動による資金の増加は128百万円（前年同四半期比63百万円増）であり、収入の主な内訳は、税引前四半期純利益49百万円、非資金取引の減価償却費45百万円、賞与引当金の増加41百万円、仕入債務の増加141百万円があり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加115百万円、法人税等の支払35百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間における投資活動による資金の増加は44百万円（前年同四半期比10百万円減）であり、これは主に敷金及び保証金の回収による収入163百万円、有形固定資産の売却による収入5百万円、有形固定資産の取得による支出34百万円、敷金及び保証金の差入による支出12百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期会計期間における財務活動による資金の減少は138百万円（前年同四半期比192百万円減）であり、これは主に長期借入金の返済による支出118百万円、社債の償還による支出20百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の業績予想につきましては、平成22年10月8日公表の「平成23年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）」から変更はありません。

なお、今後の経営環境等の変化により、業績予想について見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

たな卸資産の実地棚卸の省略

当第3四半期会計期間末の棚卸高の算出については、実地棚卸を省略し、第2四半期会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(表示方法の変更)

当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係) 前第3四半期累計期間において「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めて表示しておりました「有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入」は重要性が増加したため、当第3四半期累計期間では区分掲記することとしました。なお、前第3四半期累計期間の「投資活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含まれる「有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入」は30,325千円であります。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,473,819	2,431,834
売掛金	56,948	49,052
有価証券	—	100,040
商品	1,217,934	1,263,097
その他	429,827	472,841
貸倒引当金	△1,914	△1,916
流動資産合計	5,176,615	4,314,950
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,160,194	1,246,159
土地	3,250,681	3,250,681
その他(純額)	202,177	226,961
有形固定資産合計	4,613,053	4,723,802
無形固定資産	33,451	41,045
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,219,229	1,439,429
建設協力金	523,497	730,254
その他	714,170	997,395
貸倒引当金	△16,758	△17,018
投資その他の資産合計	2,440,138	3,150,060
固定資産合計	7,086,643	7,914,908
資産合計	12,263,259	12,229,859
負債の部		
流動負債		
買掛金	348,988	240,079
短期借入金	502,700	287,800
未払法人税等	10,500	35,685
賞与引当金	136,274	102,212
その他	453,628	531,307
流動負債合計	1,452,092	1,197,085
固定負債		
社債	60,000	100,000
長期借入金	370,000	310,000
退職給付引当金	114,923	101,071
その他	327,159	551,115
固定負債合計	872,082	1,062,186
負債合計	2,324,175	2,259,271

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年11月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,546,671	2,546,671
資本剰余金	2,705,505	2,705,505
利益剰余金	4,668,710	4,629,994
自己株式	△337	△328
株主資本合計	9,920,550	9,881,843
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	18,532	88,744
評価・換算差額等合計	18,532	88,744
純資産合計	9,939,083	9,970,587
負債純資産合計	12,263,259	12,229,859

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
売上高	9,152,953	7,796,906
売上原価	5,030,662	4,213,825
売上総利益	4,122,290	3,583,080
販売費及び一般管理費	4,111,823	3,682,702
営業利益又は営業損失(△)	10,467	△99,621
営業外収益		
受取利息	4,483	2,879
受取配当金	5,336	4,986
不動産賃貸料	497,142	435,497
その他	85,652	127,930
営業外収益合計	592,614	571,294
営業外費用		
支払利息	15,671	12,795
不動産賃貸費用	394,615	331,840
その他	14,654	28,825
営業外費用合計	424,942	373,461
経常利益	178,139	98,210
特別利益		
事業譲渡益	24,721	—
投資有価証券売却益	11,552	37,680
貸倒引当金戻入額	380	263
保険解約返戻金	20,622	—
特別利益合計	57,276	37,943
特別損失		
固定資産除却損	27,677	804
賃貸借契約解約損	8,000	14,086
減損損失	257,192	45,479
特別損失合計	292,870	60,370
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△57,453	75,784
法人税、住民税及び事業税	73,837	18,107
法人税等調整額	△7,822	18,960
法人税等合計	66,015	37,067
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△123,468	38,716

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自平成21年9月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期会計期間 (自平成22年9月1日 至平成22年11月30日)
売上高	2,902,180	2,437,733
売上原価	1,571,328	1,310,647
売上総利益	1,330,852	1,127,086
販売費及び一般管理費	1,322,243	1,166,610
営業利益又は営業損失(△)	8,608	△39,523
営業外収益		
受取利息	1,512	872
受取配当金	422	328
不動産賃貸料	159,633	135,126
その他	29,588	69,107
営業外収益合計	191,157	205,434
営業外費用		
支払利息	4,344	3,718
不動産賃貸費用	124,023	100,152
その他	8,299	12,625
営業外費用合計	136,667	116,496
経常利益	63,098	49,413
特別利益		
投資有価証券売却益	5,189	—
貸倒引当金戻入額	73	177
特別利益合計	5,262	177
特別損失		
賃貸借契約解約損	190	—
特別損失合計	190	—
税引前四半期純利益	68,169	49,591
法人税、住民税及び事業税	59,618	5,542
法人税等調整額	△24,370	20,408
法人税等合計	35,247	25,951
四半期純利益	32,922	23,639

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△57,453	75,784
減価償却費	168,662	136,906
減損損失	257,192	45,479
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△380	△263
賞与引当金の増減額 (△は減少)	48,846	34,062
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	4,912	13,851
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△107,750	—
受取利息及び受取配当金	△9,819	△7,866
支払利息	15,671	12,795
投資有価証券売却益	△11,552	△37,680
固定資産除却損	27,677	804
賃貸借契約解約損	8,000	14,086
事業譲渡損益 (△は益)	△24,721	—
保険解約返戻金	△20,622	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△5,856	△7,896
たな卸資産の増減額 (△は増加)	29,829	45,163
仕入債務の増減額 (△は減少)	24,644	109,065
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△28,133	1,296
その他	110,971	36,663
小計	430,118	472,252
利息及び配当金の受取額	7,522	6,789
利息の支払額	△17,108	△13,367
法人税等の支払額	△111,588	△43,049
営業活動によるキャッシュ・フロー	308,944	422,625
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△550,000	△600,000
定期預金の払戻による収入	95,000	550,000
事業譲渡による収入	27,842	—
有形固定資産の取得による支出	△134,088	△84,491
有形固定資産の売却による収入	1,151	15,060
有形固定資産の除却による支出	△6,142	△14,086
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	285,729
敷金及び保証金の差入による支出	△35,905	△13,659
敷金及び保証金の回収による収入	229,920	298,434
保険積立金の解約による収入	91,712	—
その他	△3,582	△102,178
投資活動によるキャッシュ・フロー	△284,090	334,808

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	100,000
長期借入れによる収入	400,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△323,350	△325,100
社債の償還による支出	△340,000	△40,000
配当金の支払額	△69,350	△341
その他	△10	△8
財務活動によるキャッシュ・フロー	△332,711	234,549
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△307,857	991,984
現金及び現金同等物の期首残高	2,175,348	1,881,834
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,867,491	2,873,819

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

事業別売上高の状況

区分	前第3四半期累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)		当第3四半期累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
TSUTAYA事業	4,608,982	50.3	3,774,366	48.0
BOOK OFF事業	2,562,584	28.0	2,333,276	29.9
ゲーム事業	1,537,485	16.8	1,316,275	16.9
ファッションその他事業	443,901	4.9	402,986	5.2
合計	9,152,953	100.0	7,796,906	100.0

(注) 1. 上記売上高には消費税等は含まれておりません。

2. 事業別の売上内容は次のとおりであります。

・TSUTAYA事業	・・・	CD・DVDレンタル、CD・DVD・新刊本・新品 ゲームソフト及びハード販売
・BOOK OFF事業	・・・	リユース書籍、リユースCD・DVD販売、リユース スポーツ用具・衣料、リユースキッズ衣料及びベビー 用品販売
・ゲーム事業	・・・	ゲームソフト及びハードの新品・リユース販売(ゲー ムツタヤを除く)
・ファッションその他事業	・・・	メンズ衣料、カジュアル衣料、レディース衣料販売